



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 フマキラー株式会社
 コード番号 4998 URL <http://www.fumakilla.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小谷 眞弘

TEL 0829-55-2112

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,352	6.3	1,315	51.2	1,307	67.6	705	57.5
23年3月期第1四半期	8,795	△7.0	869	△47.7	780	△51.5	448	△51.0

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 864百万円 (121.2%) 23年3月期第1四半期 391百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	21.49	—
23年3月期第1四半期	14.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	21,287	8,767	39.4	255.40
23年3月期	21,362	8,249	36.9	240.25

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 8,388百万円 23年3月期 7,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	10.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,800	4.4	1,080	155.0	1,030	196.0	580	423.8	17.66
通期	24,300	3.5	1,140	79.9	1,200	87.8	690	140.1	21.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	32,980,000 株	23年3月期	32,980,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	137,784 株	23年3月期	137,534 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	32,842,304 株	23年3月期1Q	30,073,796 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11
(1) 販売実績	11
(2) 海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

指標等	23年3月期 第1四半期累計	24年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	8,795	9,352	556	6.3
営業利益	869	1,315	445	51.2
経常利益	780	1,307	527	67.6
四半期純利益	448	705	257	57.5
1株当たり四半期純利益	14円 90銭	21円 49銭		

(当期の経営成績)

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により、企業の生産活動や輸出が減少し、また原油価格上昇等の影響を受け、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、経営理念である「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。」の精神のもとに、コア事業の殺虫剤・家庭用品・園芸用品の成長カテゴリー市場を牽引する新価値創造商品を積極的に投入し、既存事業の強化を図るとともに、販売効率の向上・在庫削減・コストダウン等への取り組みによる収益力強化、及び海外事業の拡大強化等の課題に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.3%増の93億52百万円となりました。このうち、国内売上につきましては、家庭用品は前期に販売した花粉関連商品の返品により売上がマイナスとなり、園芸用品も期初からの天候不順の影響や東日本大震災の影響により売上が減少しましたが、主力の殺虫剤が好調に推移した結果、国内合計では前年同期比8.8%増の79億86百万円となりました。一方、海外売上につきましては、インドネシアの売上は現地通貨ベースでは二桁以上伸ばしましたが、欧州地域及び中近東地域の売上が減少し、また為替の影響も受けたため、円価ベースでは前年同期比6.3%減の13億65百万円となりました。

売上原価は、売上の増加に伴い、前年同期より1億65百万円増加し57億11百万円となりましたが、売上原価率は61.1%となり、前年同期より2.0ポイント改善いたしました。

これらの結果、売上総利益は36億40百万円（前年同期比12.0%増）となり、返品調整引当金繰入後の差引売上総利益は35億28百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費は前年同期比1.1%減の22億13百万円となり、連結営業利益は13億15百万円（前年同期比51.2%増）、連結経常利益は13億7百万円（前年同期比67.6%増）、四半期連結純利益は7億5百万円（前年同期比57.5%増）の大幅な増益となりました。

なお、当社グループは、殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高は上半期を中心に多く計上されるという季節変動要因をかかえております。一方、人件費や諸経費（広告宣伝費のような政策費を除く）は固定費として、年間を通じてほぼ均等に発生するため、事業年度の四半期毎の売上高や利益には著しい相違があります。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

	23年3月期 第1四半期累計	24年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	7,263	8,233	969	13.4
家庭用品	△63	△345	△282	—
園芸用品	823	751	△71	△8.7
防疫剤	419	386	△33	△8.0
その他	352	326	△26	△7.5
合計	8,795	9,352	556	6.3

殺虫剤部門につきましては、国内で需要が拡大している電池式やワンプッシュ式蚊取り、不快害虫用製品、設置型虫よけなどの成長カテゴリー市場に、電池式蚊取り「どこでもベープ」やワンプッシュ式の次世代蚊取り「おす

だけベープ」、自動噴霧式の虫よけ「自動でベープ」、設置型虫よけ「虫よけバリア」等の新製品を投入した結果、これらの新製品が売上増に貢献し、殺虫剤の売上が大きく増加いたしました。一方、海外におきましては、フマキラーインドネシア（株）の売上が増加し、国内及び海外の殺虫剤合計の連結売上高は前年同期比13.4%増の82億33百万円（前年同期比9億69百万円増）となりました。

家庭用品部門につきましては、前期に販売した花粉関連商品の返品により、家庭用品合計の売上高は3億45百万円のマイナス（前年同期比2億82百万円減）となりました。

園芸用品部門につきましては、期初からの天候不順の影響を受け園芸市場全体が不振だったことや、園芸代理店や販売店が東日本大震災の影響を受けたことにより需要期である春先の売上が減少したため、園芸用品合計の売上高は前年同期比8.7%減の7億51百万円（前年同期比71百万円減）となりました。

防疫剤部門は3億86百万円（前年同期比33百万円減、8.0%減）、その他の部門は3億26百万円（前年同期比26百万円減、7.5%減）でそれぞれ減収となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて74百万円減少し、212億87百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が5億25百万円増加したことや、繰延税金資産が1億95百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が8億15百万円、たな卸資産が1億34百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて5億92百万円減少し125億20百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が23億11百万円、未払法人税等が6億78百万円、未払金が4億38百万円それぞれ増加した一方で、短期借入金が42億98百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて5億18百万円増加し87億67百万円となりました。なお自己資本比率は2.5ポイント増加し39.4%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想に関しましては平成23年5月13日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 税金費用の計算

税金費用について一部の子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,542,659	3,068,504
受取手形及び売掛金	7,163,947	6,347,947
商品及び製品	3,830,707	3,799,084
仕掛品	851,893	696,621
原材料及び貯蔵品	1,327,634	1,379,978
その他	869,588	1,056,254
貸倒引当金	△3,161	△3,564
流動資産合計	16,583,269	16,344,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	800,750	802,610
機械装置及び運搬具（純額）	783,054	774,750
工具、器具及び備品（純額）	150,062	163,803
土地	654,198	654,198
リース資産（純額）	11,196	10,406
建設仮勘定	134,481	226,384
有形固定資産合計	2,533,744	2,632,154
無形固定資産	164,075	166,396
投資その他の資産		
投資有価証券	1,960,439	2,021,129
その他	132,785	136,487
貸倒引当金	△20,974	△20,934
投資その他の資産合計	2,072,250	2,136,682
固定資産合計	4,770,070	4,935,234
繰延資産		
株式交付費	8,762	7,751
繰延資産合計	8,762	7,751
資産合計	21,362,102	21,287,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,902,352	6,213,415
短期借入金	6,257,272	1,958,759
リース債務	3,160	3,160
未払法人税等	71,483	750,090
賞与引当金	207,670	104,834
売上割戻引当金	172,635	315,470
返品調整引当金	461,357	573,246
その他	1,105,897	1,610,129
流動負債合計	12,181,829	11,529,105
固定負債		
リース債務	8,036	7,246
退職給付引当金	160,870	188,694
役員退職慰労引当金	415,310	426,223
資産除去債務	8,340	8,379
その他	338,446	360,856
固定負債合計	931,003	991,399
負債合計	13,112,833	12,520,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698,680	3,698,680
資本剰余金	2,105,690	2,105,690
利益剰余金	2,630,843	3,008,070
自己株式	△40,537	△40,623
株主資本合計	8,394,677	8,771,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△194,788	△124,038
為替換算調整勘定	△309,372	△259,762
その他の包括利益累計額合計	△504,161	△383,800
少数株主持分	358,752	379,289
純資産合計	8,249,268	8,767,306
負債純資産合計	21,362,102	21,287,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	8,795,745	9,352,154
売上原価	5,546,120	5,711,338
売上総利益	3,249,625	3,640,815
返品調整引当金戻入額	264,263	422,959
返品調整引当金繰入額	406,809	534,848
差引売上総利益	3,107,079	3,528,926
販売費及び一般管理費	2,237,173	2,213,500
営業利益	869,906	1,315,425
営業外収益		
受取利息	706	1,415
受取配当金	21,844	27,062
その他	17,532	18,625
営業外収益合計	40,082	47,103
営業外費用		
支払利息	11,712	9,248
売上割引	34,520	39,009
支払手数料	75,442	—
その他	8,098	6,977
営業外費用合計	129,774	55,235
経常利益	780,214	1,307,293
特別利益		
固定資産売却益	5,263	437
貸倒引当金戻入額	5,017	—
負ののれん発生益	10,270	—
特別利益合計	20,550	437
特別損失		
減損損失	15,787	—
固定資産除却損	329	125
投資有価証券評価損	385	21,828
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,067	—
その他	—	4,300
特別損失合計	17,570	26,253
税金等調整前四半期純利益	783,194	1,281,476
法人税、住民税及び事業税	409,330	730,033
法人税等調整額	△111,147	△184,628
法人税等合計	298,182	545,405
少数株主損益調整前四半期純利益	485,011	736,071
少数株主利益	36,976	30,420
四半期純利益	448,034	705,651

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	485,011	736,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145,363	70,750
為替換算調整勘定	51,358	57,983
その他の包括利益合計	△94,004	128,733
四半期包括利益	391,006	864,805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345,970	826,011
少数株主に係る四半期包括利益	45,036	38,793

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である役員会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、殺虫剤、園芸用品、家庭用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業内容とする単一事業であり、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「インドネシア」、「その他」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

	報告セグメント			その他（注） （千円）	合計 （千円）
	日本 （千円）	インドネシア （千円）	計 （千円）		
売上高					
外部顧客に対する売上高	7,724,748	993,790	8,718,539	77,206	8,795,745
セグメント間の内部売上高又は振替高	158,114	172,404	330,518	—	330,518
計	7,882,863	1,166,195	9,049,058	77,206	9,126,264
セグメント利益又は損失（△）	642,453	193,212	835,666	△13,033	822,632

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

利 益	金 額 （千円）
報告セグメント計	835,666
「その他」の区分の損失	△13,033
セグメント間取引消去	47,811
その他の調整額	△538
四半期連結損益計算書の営業利益	869,906

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係わる重要な減損損失)

	日本 (千円)	インドネシア (千円)	その他(注) (千円)	合計 (千円)
減損損失	—	—	15,787	15,787

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(のれんの金額の重要な変動)

	日本 (千円)	インドネシア (千円)	その他(注) (千円)	合計 (千円)
のれん	—	—	10,225	10,225

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(重要な負ののれん発生益)

	日本 (千円)	インドネシア (千円)	その他(注) (千円)	合計 (千円)
負ののれん	10,270	—	—	10,270

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である役員会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、殺虫剤、園芸用品、家庭用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業内容とする単一事業であり、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「インドネシア」、「その他」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

	報告セグメント			その他（注） （千円）	合計 （千円）
	日本 （千円）	インドネシア （千円）	計 （千円）		
売上高					
外部顧客に対する売上高	8,241,877	1,030,270	9,272,148	80,006	9,352,154
セグメント間の内部売上高又は振替高	180,840	208,485	389,326	—	389,326
計	8,422,718	1,238,755	9,661,474	80,006	9,741,480
セグメント利益又は損失（△）	1,112,034	175,922	1,287,957	△5,416	1,282,540

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

利 益	金 額 （千円）
報告セグメント計	1,287,957
「その他」の区分の損失	△5,416
セグメント間取引消去	33,368
その他の調整額	△483
四半期連結損益計算書の営業利益	1,315,425

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(千円)

事業区分	前第1四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	
	金額	構成比 %
殺虫剤	7,263,805	82.5
家庭用品	△63,727	△0.7
園芸用品	823,359	9.4
防疫剤	419,847	4.8
その他	352,460	4.0
合計	8,795,745	100.0

事業区分	当第1四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	
	金額	構成比 %
殺虫剤	8,233,677	88.1
家庭用品	△345,933	△3.7
園芸用品	751,883	8.0
防疫剤	386,330	4.1
その他	326,195	3.5
合計	9,352,154	100.0

事業区分	前連結会計年度 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	
	金額	構成比 %
殺虫剤	15,530,688	66.2
家庭用品	2,934,944	12.5
園芸用品	2,000,355	8.5
防疫剤	1,514,833	6.4
その他	1,492,336	6.4
合計	23,473,157	100.0

(注) 金額は純売上高（消費税等抜き）によっております。

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,106,891	350,909	1,457,800
II 連結売上高（千円）	—	—	8,795,745
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.6	4.0	16.6

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
(1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド
(2) その他の地域 : メキシコ、イタリア
3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,107,621	257,746	1,365,367
II 連結売上高（千円）	—	—	9,352,154
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	11.8	2.8	14.6

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
(1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド
(2) その他の地域 : メキシコ、イタリア
3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。